

○基本目標について

No.	項目内容	ご意見等	事務局案
1	案全体	○今回の基本計画には SDGs の考え方が色濃く反映されているように感じました。基本目標についてもいずれの案も、SDGs と結びついているものになっていると思います。東日本大震災、原発事故から10年が経過しても、今後も困難な課題に立ち向かわなければならない福島県にとって、県民のひとりひとりが生涯学習に取り組むことが意味のあるものであることを強くアピールするものであってほしいと思います。	○提案【目標案】 御意見を踏まえ、各案について一部修正を行い、次の3案を提案いたします。 【案1】 (原案) いつでも、どこでも、だれもが親しむことができる、「生涯学習社会ふくしま」を実現する。
2	案全体	○大変よく検討されていて賛成です。	(修正案) <u>誰でも、どこにいても、学びたいときに学べる</u> 「生涯学習社会ふくしま」を実現する。
3	案全体	○あくまで、資料2Ⅲのめざす姿と併せて基本目標を見た場合ですが、めざす姿の2段落の成果の発揮と多様な主体、3段落の記録と教訓の継承と世界貢献の趣旨が3案いずれからも酌み取れません。めざす姿では、多様な主体や記録と教訓の継承について丁寧に記載されているのに対し、案2のゆたかな地域や案3の支え合いなどの言葉が唐突に現れるように感じられます。	【案2】 (原案) ひろがる学び つながる心 ゆたかな地域 生涯学習社会ふくしま (修正案) ひろがる学び つながる心 <u>活気ある地域</u> <u>次世代へつなぐ</u> 生涯学習社会ふくしま
4	案全体	○案1、案2、案3いずれも良い案だと思います。案1については優しい言葉が選ばれており、特に「だれもが」というくだりが良いと思います。わかりやすく良いのですが、子ども向けのような感じがします。案3については「・・・合い」が繰り返されることで多くの県民がみんなで、という感じが伝わります。「いきいき」というのも生涯学習にはぴったりだと思います。しかし、色々なことが地域にゆだねられている感じがし県の目標というよりは地域に向けての目標にも感じます。	【案3】 (原案) 学び合い 支え合い 地域がいきいき 生涯学習社会ふくしま (修正案) 学び合い 支え合い 地域が <u>輝き</u> <u>次世代へつなぐ</u> 生涯学習社会ふくしま
5	案1	○「いつでも、どこでも、だれもが親しむことができ…」の「親しむ」は、学びに親しむ趣旨だと思いますが、省略されていてわかりにくいです。資料2のⅢに記載の「誰でも、どこにいても、学びたいときに学ぶ…」だとそれぞれが学びたいことを学べる趣旨に聞こえますが、親しむだと何に親しむのか考えてしまいます。また、生涯学習社会ふくしまは、案2、案3と同じに思われるのですが、案1だけ「」をつけてあります。意味が異なる用語として使っているのでしょうか。	
6	案1	○将来の福島県の生涯学習に向けて、適切な目標設定であることを確認しました。いずれの案も目標設定に相応しいと思いますが、特に案1が将来に向けて期待できるものと思われま	

7	案2	○私は案2が良いと思います。ごろ（語調のリズム）も良いし、これからの世の中に必要なこと、生涯学習に求められること、掲げられた施策にも合っていると思います。
8	案2	○人生100年時代、またデジタル化の進展（ICTの活用）、SDGsなどの新しい価値観といった、社会の変化に即した生涯学習を想起させるという点で、「ひろがる学び」というキーワードの入った案2がよいと思います。
9	案2・3	○3つの案のうちどれかを選ぶとすると、現行の基本目標との連動性と発展性から案2がよいと思います（現行の基本目標と書式を合わせるのであれば語句の間に「、」を補ってもよいでしょう）。案1は生涯学習のユビキタス性（普遍性）を強調するあまり、学びの成果の地域展開という視点が見えにくくなっていると感じます。案2と案3はほぼ同じような趣旨に見えますので、大きな差は感じません。語句の新規性を重視するのであれば案3の方を採用してもよいでしょう。
10	案3	○基本目標としては（案3）が分かりやすく、スッキリしていると思う。
11	案3	○どの文面も思いは伝わってきますが、（案3）が一番簡潔に表現されているように感じました。
12	案3	○基本目標（案3）について、「学び合い」「支え合い」「地域がいきいき」の最後の「地域がいきいき」は違和感がある。県民が相互に関わり合うことによって、人間性が豊かになり、活力ある地域をつくるのが生涯学習計画の目指しているところだということは分かるのですが。
13	案4	○推進施策や4つの視点と結びつけて考えると、「目標2」がわかりやすいと思いました。

1 「人生100年時代を生きる学びの推進」について

No.	項目内容	ご意見等	事務局案
14	全体	○「生きがい」の発見と創出、などという文言は必要ありませんか？	○回答 「生きがい」は生涯学習の大きな目的の一つであり、いわゆる生涯学習の基本的な内容を想定した「1(1)①ライフステージに応じた学びの機会の提供」の本文に記載してまいります。
15	全体	○それぞれの施策の方向は、適切に設定されていると思います。	○御意見を参考にさせていただきます。
16	全体	○最近、中高年の引きこもりが問題となっています。就労支援だけではなく、生涯学習と関連して社会参加の取組を支援することも大切なのではないのでしょうか。	○回答 「1(1)③学び直しがしやすい環境づくり」における就労支援の取組などでできた社会とのつながりが、地域活動への参加にもつながるよう「2(1)③地域活動への参加の促進」の本文に記載してまいります。
17	全体	○施策のなかで、スポーツや文化・アート活動などにもぜひふれてほしいと思います。(県総合計画には文言が入っているようですが) 漫画やアニメ、ゲーム、eスポーツは広げすぎでしょうか。	○回答 漫画などを含め、スポーツ、文化、アート活動(芸術)については、「1(4)生涯にわたる学びの基本となる心身の健康づくり」、「4(2)学習成果の発表と活用場の提供」などで、その趣旨を含めて位置づけることを想定しています。
18	全体	○この推進施策についても賛成ですが、コロナ禍で中止、停止など影響が大きく、今後初歩から考え直すことが多いかもしれません。その対応は考慮いただけるようお願いいたします。	○回答 御意見を参考にさせていただきます、オンライン形式、対面形式それぞれの長所を生かしながら各種の施策を推進してまいります。
19	(1) 社会人の学びの推進	○(1)について 社会人という大きなくりにしたのはどうかと思いましたが、①ライフステージに・・・に一節があるので良いのかと思います。	○御意見を参考にさせていただきます。
20	(1) ②仕事と生活の調和	○②仕事と生活の調和？他の項目と比べて漠然としているように思えます。	○提案【文言の変更】 生涯学習意識調査では、生涯学習をしたことがない理由として「仕事や家事などが忙しく時間がない」が最も多く生涯学習を推進する上で重要な要素と考えております。 そのため、企業、家庭、地域社会が一体となって環境づくりを行うことが必要
21	(1) ②仕事と生活の調和	○「仕事と生活の調和」のイメージがうまくつかめませんでした。	

			であることから、②を「企業や家庭、地域社会が一体となった学びやすい環境づくり」に変更します。
2 2	(1) ③学び直しがしやすい環境づくり	○「リカレント教育」について、県として取り組んでいくことを明示するために、どこかの見出しに、「リカレント教育」という文言を入れてはいかがでしょうか。	○回答 リカレント教育の推進に向けては大学等高等教育機関との連携が不可欠であり、「4 (3) 関係機関等の連携・強化」の本文にその趣旨を盛り込んでまいります。
2 3	(1) ④学習成果の職業キャリア形成への活用	○(1)の④は推進施策の4(2)に「再掲」として掲げてもよいのではないのでしょうか(多少調整が必要になるかもしれませんが)。	○回答 御意見を踏まえ、「4(2) 学習成果の発表と活用の場の提供」にも再掲として本文に記載してまいります。
2 4	(2) 若い世代の「生きる力」の育成	○(2)の部分ですが、これからの超高齢化社会や障害者の方などに対する理解を深める意味でも福祉に関する学びを入れてみてはどうでしょうか。SDGsにも紐づけできるので。	○回答 生涯学習意識調査の中でも、行政が取り組むべき生涯学習分野として高齢化・介護、健康・福祉がそれぞれ1位、2位となっています。「1(1)①ライフステージに応じた学びの機会の提供」の本文に記載してまいります。
2 5	(2) ④読書に親しむ活動の推進	○「読書に親しむ活動の推進」は具体的に理解されやすいように感じました。若い世代だけではなくもっと幅広い世代に向けた取組であってほしいと思います。	○回答 「ふくしまの未来をひらく読書のカプロジェクト」などを念頭に、特に若い世代の読書習慣が、将来の読書習慣につながるよう基本計画への記載を検討してまいります。
2 6	(2) 若い世代の「生きる力」の育成 (4) 生涯にわたる学びの基本となる心身の健康づくり	○(2)(4)の項目ができて読書と健康を別項目にしたことはとても良いと思います。	○御意見を参考にさせていただきます。
2 7	(2) 若い世代の「生きる力」の育成 (4) 生涯にわたる学びの基本となる心身の健康づくり	○(2)若い世代の学びの推進は、2つ目の柱の地域づくりにつながる学びの推進と内容が重複している項目が多いように思えます。無理に分けなくても良いのではないのでしょうか。このテーマであるなら、(4)の健康づくりが最も力を入れるべき内容ではないのでしょうか。生涯学習の担い手の中心である世代に向けた施策がもの足りないように感じます。	○回答 「1(2)②地域が一体となった子どもの育成」については、主に学齢期の子どもを対象に地域の中で生きる力を身につけてもらうという切り口で、「2(2)①地域が一体となった学びの環境づくり」は、子どもも含めて全世代が学び合える環境づくりを進めるとい

			う切り口で本文に記載することとしております。 生涯学習の担い手の中心である世代（シニア世代）に向けた施策としては、「1（1）①ライフステージに応じた学びの機会の提供」や、「1（4）生涯にわたる学びの基本となる心身の健康づくり」、「4（1）①オンラインを活用した学習の推進」の本文に記載してまいります。
28	(3) 支援が必要な人の学びの推進	○(3)については、支援が必要な人を支援する人や団体の育成に言及する必要はありませんか？	○回答 支援する人や団体の育成が進むよう施策に反映させるなど本文に記載してまいります。
29	(3) 支援が必要な人の学びの推進	○(3)について異論はありませんが、資料2などを見ても、具体性が見えません。支援が必要な人の幅も広く多岐にわたるので仕方がないことかもしれませんが、施策が実行されます時にはより多くの方が支援を受けることができますよう希望いたします。	○回答 内容としては、支援が必要な方について卒業後も個別の支援計画が就職先や進学先に引き継がれ、学びにつながるよう切れ目ない支援を行うことや、様々な人が参加できるように市町村の講座等でも工夫することなどを想定しており、御意見を踏まえて本文に記載してまいります。
30	(3) 支援が必要な人の学びの推進	○また関連して、共生社会実現を目指した学びの推進という視点を1（3）に掲げられてはいるものの、指標からすると特別支援教育に比重がかかっているようでもあるので、さらに幅広く展開していくことを重要かと思えます。	
31	(3) ①支援が必要な人への切れ目ない学びの支援	○社会がICTを活用して便利になってきているが、これらを活用するためには、個人のICT活用技術が必要となる。これらを習得する機会についても言及してほしい。特に、障がい者や高齢者が学ぶ機会や教育できる人材の育成も重要だと思う。	○回答 ICTのスキルを習得する機会について、4（1）①の本文に記載してまいります。
32	(4) 生涯にわたる学びの基本となる心身の健康づくり	○(4)ここでいう健康とは、身体的のみならず精神的な健康も当然含まれるべきですね。とすれば、赤の見出しについては「生涯にわたる学びを通じた精神的身体的な健康づくり」としたほうが良いように思います。そのうえで、身体的な健康に関する指標として「指標4」をあげるべきかと考えます。	○提案【文言の変更】 御意見を踏まえ、(4)を「生涯にわたる学びの基本となる心身の健康づくり」に変更します。
33	(4) 生涯にわたる学びの基本となる心身の健康づくり	○(4)生涯にわたる学びの基本となる健康づくりでは、健康寿命を伸ばす身体づくりが大切だと思うので、栄養指導や軽い運動なども講習にあると思う。	○回答 市町村の生涯学習講座の中には、栄養指導や軽い運動などの講習も含まれており、そうした学びが推進されるよう本文に記載してまいります。

2 「地域づくりにつながる学びの推進」について

No.	項目内容	ご意見等	事務局案
3 4	全体	○それぞれの施策の方向は、適切に設定されていると思います。	○御意見を参考にさせていただきます。
3 5	全体	○異論ありません。少子高齢化だけでなく人口減少の市町村も多く、核家族化、ひとり親家庭、共働き、ライフスタイルの変化など色々な要因があり、地域づくりも難しく、人のつながりも希薄になり、なかなか大変な時代になったと感じております。だからこそ、少しずつでも推進しなければならない項目でもあると思います。	○御意見を参考にさせていただきます。
3 6	全体	○生涯学習の取組が、地域づくりや地域の活性化に結びつく面は確かにあると思います。しかし大切なのは、生涯学習に取り組むことでひとりひとりの生活がより満ち足りたものになり、充実した生き方につながることはないでしょうか。生き生きした日々を送る人が増えれば、その地域も魅力的になると思います。ひとりでも多くの人に生涯学習に携わる機会を提供することが、結果的に地域づくりや地域振興につながるように思います。	○回答 御指摘のとおりであり、「1 人生100年時代を生きる学びの推進」において個人の学びを充実させ、生き生きした日々を送る人が増えることで、それが「2 地域づくりにつながる学びの推進」にもつながっていくものと考えております。
3 7	全体	○地域という単位こそ大切であり、重要だと思いますので力を入れて取り組むべきと考えます。	○御意見を参考にさせていただきます。
3 8	全体	○過疎化が進む地域の学びの支援に役立てられれば良いと考えます。	○御意見を参考にさせていただきます。
3 9	(1) 地域コミュニティの活性化につながる学びの提供	○「②地域を支える人材を育成する」人(育成者=社会教育主事等)の教育や増員も必要なのではないか。	○回答 社会教育主事等も含め、学びを支える人の育成につきまして、御意見を参考に、「4(3)③生涯学習担当職員等への支援」の中での取組として計画に盛り込んでまいります。
4 0	(1) 地域コミュニティの活性化につながる学びの提供	○「地域活動」の継続及び活性化の支援が必要なのではないか。	○回答 公民館などの各生涯学習施設において、情報提供や機会の充実が図られるよう計画に位置付けてまいります。
4 1	(2) 地域への誇りと愛着をはぐくむ学びの推進	○「④伝統文化等の継承・担い手育成の支援」は、地域への誇りと愛着をはぐくむ学びとして有効かつ重要であると思う。	○御意見を参考にさせていただきます。
4 2	(2) ②親の学びの推進	○(2)②親の学びの支援 現代価値観が変わってしまったのか？親力？大人力？が無くなってきていると思います。その意味もありとても必要な事だと思います。受け入れられる学び支援を考えていく必要があると思います。着目したこととても良いと思います。	○御意見を参考にさせていただきます。

4 3	2 地域づくりにつながる 学びの推進及び3 震災 の記憶と教訓の伝承	○基本的には柱の2と3をそれぞれに掲げることに賛同致しますが、推進 施策細目数のバランスの関係からこの2つを結合するという余地もあろ うかと思えます。	○回答 「3 震災の記憶と教訓の伝承」は 本県特有の課題として、本計画におけ る大きなポイントと考えており、独立 した柱として内容をしっかりと記載し てまいります。
4 4	(2) 地域への誇りと愛 着をはぐくむ学びの推 進	○(2)の地域の誇りと愛着をはぐくむ学びの推進 地域の環境美化も大切だと思う。	○御意見を参考に、基本計画「(1) ③地 域活動への参加の促進」の本文に記載 させていただきます。

3 「震災の記憶と教訓の伝承」について

No.	項目内容	ご意見等	事務局案
4 5	(1) ①次世代への記憶、記録、教訓の伝承	○震災を経験したからこそその経験は大切であり、その教訓を、どう伝えていくべきか知恵を出し合うべき。	○回答 御指摘のとおり、伝承のあり方については、県民一人一人が自分事として考え続けていく必要があると考えております。 県では「震災・原発の経験・教訓、復興状況伝承事業（ジャーナリストスクール開催事業）」や「震災と復興を未来へつむぐ高校生語り部事業」など、震災や福島の今を学び発信する取組を行っており、取組を通じ、それぞれが伝承することの意味を考えていくことが重要だと考えております。こうした機会をしっかりと確保するよう計画にも位置付けてまいります。
4 6	(1) ①次世代への記憶、記録、教訓の伝承	○震災を体験していない子ども、震災時に幼児期で記憶のない子どもが増えてきているので、早急な対策が必要だと考えています。	○回答 震災を体験していない、記憶のない世代にどう引き継いでいくかは重要な課題と認識しております。 小中学校の震災学習においては、東日本大震災・原子力災害伝承館やコミュタン福島などを見学し震災の理解を深める取組を行っており、県では見学への支援を行うことで学びやすい環境づくりに努めています。高校生においては、語り部の育成事業を通じて、震災の記憶を自分の言葉で語れるよう取り組んでいます。震災の記憶を伝承し、風化を防ぐため、こうした取組の推進を計画にも位置付けてまいります。
4 7	(1) ①次世代への記憶、記録、教訓の伝承	○ 次世代はなんとなくスパンが短いイメージを受けてしまいます。後世へのなど、長いスパンで考えるべきという意図が伝わるような言葉ではいかがでしょうか？	○回答 本計画はふくしまの30年先の未来を思い描きつつ、令和4年度から令和12年度の9年間を計画期間としたものであり、それを踏まえ「次世代」という言葉を用いており、県総合計画とも

			整合を図っております。
4 8	(1) ③命を守る防災教育の推進	○防災教育は、これから大切なテーマになると思います。地震、異常気象などこれまで想定していた以上の事態が毎年のように起きています。コロナ禍も同じかもしれません。想定を上回る事態に見舞われた時、どうやって命を守るか。生涯学習として、その役割をどう果たしていくか大きな課題だと思います。今年2月の地震では、公共施設の被害も目立ちました。生涯学習活動の拠点となる施設にとって、災害に強い建物であることも大切だと思います。	○回答 御意見のとおり生涯学習意識調査においても防災教育への関心は高まっております。また、想定を上回る事態にも対応できる人づくり、地域づくりにつながるよう、計画を策定してまいります。
4 9	(1) ③命を守る防災教育の推進	○防災教育は県、県内市町村及び企業団体等を含めた連携が必要かと思えます。	○回答 県では避難所運営の円滑化に向け、市町村職員等を対象にしたセミナーや、学校や地域団体への防災出前講座を行っており、今後とも市町村等と連携しながら、そうした取組が推進されるよう本文中に記載してまいります。

4 「社会の変化に対応した学びやすい環境づくりの推進」について

No.	項目内容	ご意見等	事務局案
5 0	全体	○民間のカルチャーセンターでもコロナ禍のなか、オンライン講座が増えています。しかし受講生にとっては満足度が低く、課題が多いのも実情です。やはり対面での講座、そして同じ趣味を持つ仲間と集まることが、受講生にとっては大きな意味を持っています。講座の一部にインターネットを利用することは増えるでしょうが、全面的にオンライン講座で展開するのは今後も難しいと考えています。成果の発表や活用の場として、SNS やインターネットを利用することは、今後も増えていくと思います。インスタやツイッターなどを利用して、どうやって発信していくか。発信力が地域のパワーにもつながると思います。	○回答 コロナ禍の中、オンラインの活用が急速に進んでいますが、高齢者を始めとして、それに対応できない方々も多く存在しています。 講座等を提供する側がオンラインを活用することで利便性が高まり、学習機会の充実につながりますが、その効果を十分に発揮するためには、利用者側においてもオンラインに対応できる知識や技術を身につける必要があります。 オンラインの活用については、提供側の視点だけでなく、利用者側の視点も踏まえた施策を検討してまいります。
5 1	全体	○新型コロナによる社会生活の変化の影響もあり、これらの活用がますます必要になっているので、すべての年代で抵抗なく活用できるような環境づくりは大切な課題だと思います。	また、オンラインの活用が進む一方で、対面形式の持つ意味も大きくなってきています。
5 2	(1) ICT の活用と学習情報の提供	○高齢者向け ICT の活用が必要かと思います。	オンライン形式と対面形式、それぞれの良さを生かして活用することが大切であり、その趣旨を計画に反映してまいります。
5 3	(1) ①オンラインを活用した学習の推進	○オンラインを使える、オンラインの活用のしかたの講習もあったほうが良いと思う。	さらに、子どもたちのインターネット利用に関しては、SNS によるいじめなど、インターネットの利用にあたってのモラルも課題であり、インターネットリテラシーの習得についても本文に盛り込んでまいります。
5 4	(1) ICT の活用と学習情報の提供	○ICT の活用は必須だと思います。高齢者は除くとしても無い社会、無い生活は考えられないと思います。しかし、上手な付き合いも必要だと思います。先日町の教育講演会で「スマートフォンの使用が学力に及ぼす影響」という演題の講演をリモートで聴講しました。リモートで。とても便利です。しかし、内容には愕然とするものがあり、とても怖いと思いました。同時にアナログの大切さや脳の働きなどの内容もありました。上手に活用することに加え、悪い面もあるという教育も大切だと思います。	
5 5	(1) ICT の活用と学習情報の提供	○コロナ禍で、猛スピードでオンライン化等が進みましたが、一般家庭、特に高齢者のみの家庭ではなかなか難しいことが多いです。そのことも十分に配慮した環境づくりを希望します。	
5 6	(1) ICT の活用と学習情報の提供	○成人には I C T の活用スキル、子どもにはさらにモラルも学習する必要があると思います。	
5 7	(2) 学習成果の発表と活用の場の提供	○学習成果の発表の場を講座外に設定することが、より学習意欲につながるのではないかと（学習成果を活用できる機会と捉えることでできるが）。	○回答 講座以外にも様々な発表の機会や場があります。県民が参加できる文化祭やスポーツ大会なども県民カレッジで紹介しており、そうした機会の充実が図られるよう本文に記載してまい

			ります。
58	(2) ①学習成果を共有する講座等の工夫	○(2) ①について、講座のみならず、勉強会・研究会などもあるといいですね。	○回答 講座ばかりではなく、勉強会・研究会のような自主的な取組につながる学びの推進に向け計画を策定してまいります。

○生涯学習基本計画指標について

No.	項目内容	ご意見等	事務局案
59	全体	○適切な設定であると思います。	○御意見を踏まえ、更なる検討を加えてまいります。
60	全体	○コロナ禍で受講者の減とか参加者入場者の減は当たり前ですが、この減少してしまった流れをどう考えるかが大切だと思います。地域コミュニティーセンターが上手に生かされている所は、ある意味、皆さんの声が反映されているように感じますが……。ITが進むのはよいことで、子供、学生、若者にはとてもよいと思います。しかし、家庭環境により（高齢者だけではなく）難しい人達の事を忘れずにSDGsを進めてください。	
61	指標7	○児童・生徒が参加している民俗芸能団体数を、ふるさとの祭り参加団体に限定していますが、施策の成果を測定したことになるのかどうか疑問です。県内で活動している民俗芸能団体全体の傾向を把握できないのでしょうか。	
62	3(1) 震災等の経験や教訓の伝承と復興の過程からの学びと発信	○3の震災関連の指標の部分ですが、小中学校が市町村立という事はわかりますが、市町村や校長会とも連携を図り、県内の小中学生も指標として取り入れてはいかがでしょうか	
63	指標8	○指標8に小中学校も加えられたら良いと思いました。	
64	指標8	○指標8 なぜ、県立高校だけが対象なのかが疑問です。	
65	4(1) ①オンラインを活用した学習の推進	○「4 社会の変化に対応した学びやすい環境づくりの推進(1) ①」を評価する指標に、環境づくりそのものの評価が無い(利用者数で推測している)。「オンラインを活用した学習機会の提供数」を入れてはどうか。自治体による機会提供数だけでも良いと思う。	
66	指標10	○推進施策4(1)に合わせてオンライン学習やICTの活用に関連した指標の設定も検討すべきかと思います。	
67	4(3) ③生涯学習担当職員等への支援	○環境づくりのひとつとして「生涯学習担当職員」が重要だと思うが、配置数や育成に関する評価指標があっても良いと思う。	
68	指標10	○デジタル化など社会の変化が激しい中で、社会が求める人材育成のための学習の場を、県が「タイムリーに」提供していることを示せるような指標を入れられてはいかがでしょうか。例えば、生涯学習講座の中でも、新規講座設置数などが考えられます。リカレント教育に力を入れていくということであれば、リカレント教育目的の新規講座設置数などを指標にすることも一案と考えます。オンラインを活用した学習の推進の進捗が分かるように、オンライン講座設置数を指標とされてはいかがでしょうか。	

69	指標11	○推進施策4(2)①に合わせて、意識調査においても高い選択率を示していた「学んだことを活かす機会が講座内に組み込まれている」という側面を反映させ、このような講座の開設率等を指標とする等、検討すべきかと思ひます。	
70	指標12	○指標12について、以前もお話ししたと思ひますが、単に入館者数だけでは「文化振興」との違いはありません。「生涯学習」では、加えて、教育普及活動の回数・参加者数もとりあげるべきと思ひます。	
71	指標12	○生涯学習にとって数値目標にどれだけの意味があるのか疑問です。目標の数字を達成できたか未達成だったかで、生涯学習の施策を評価できるのでしょうか。受講者数や入館者数だけではなく、受講した人や入館者がどれだけ満足できたか、そして新たな分野に発展するきっかけとなったり、まわりの人に刺激となったりすることが大切だと思ひます。集客が期待できる企画展を開催することだけが目標ではないはずです。その施設、地域ならではの企画展を開催したり、来場者の関心をさらに高めるような試み、館外での普及活動などを評価できないでしょうか。	

○その他

No.	項目内容	ご意見等	事務局案
7 2	全体	○あまり多くの資料で正直ビックリです。それだけ皆様が真剣に取り組まれていることに感謝です。しかし、私達にはチョット重荷でした。重荷をかけない配慮も大切と思います。気軽に参加し実施することも生涯学習には必要なこと、だからこそ続けていけると思います。	○今回は、短い期間にもかかわらず多くの資料をお送りし、ご負担をおかけしてしまったことをお詫び申し上げます。今後は、御意見にある生涯学習の趣旨も踏まえ対応してまいります。
7 3	全体	○資料2のⅡ（課題）を見て、社会の急激な変化への対応、多様化する課題の解決に生涯学習が重要な役割を果たすと感じました。この基本計画がよりよいものになることを期待いたします。	○御意見を参考にさせていただきます。
7 4	全体	○どのような課題認識で今回の計画を立案されたかが、分かりやすく整理された資料だと思いました。	○御意見を参考にさせていただきます。
7 5	全体	○全体的に、表現が柔らかく分かりやすくなっているように感じました。	○御意見を参考にさせていただきます。
7 6	全体	○膨大な資料の整理作成ご苦労様です。色々な形の資料がありわかりやすかったです。施策は全体的にみてとてもよくできていると思います。的確な意見が出来ず申し訳ございません。	○御意見を参考にさせていただきます。
7 7	全体	○新型コロナ感染拡大のため、東京オリンピックは一部を除き無観客での開催となりました。県内でもボランティアの活動が当初予定されていたものとは大幅に変更になってしまいました。せっかく準備をしていたものが発揮されずに終わってしまったものも多くあると思います。今後の県内のボランティア活動などに、オリンピックのために準備したものを生かすことができないでしょうか。多くの人に関わっていただければと思います。	○回答 ボランティア活動の推進について「2（1）③地域活動への参加の促進」の本文に記載してまいります。
7 8	背景と課題	○推進施策設定の背景・課題と挙げられていた5つの項目のうち、「少子高齢化及び人口減少の学びへの影響」「新型コロナウイルス感染症の拡大と生涯学習のあり方」について、推進施策や指標等に明示的に組み入れる余地はあるでしょうか？	○回答 御意見を参考にさせていただき、「少子高齢化及び人口減少の学びへの影響」については、「2 地域づくりにつながる学びの推進」が、「新型コロナウイルス感染症の拡大と生涯学習のあり方」については、「4 社会の変化に対応した学びやすい環境づくりの推進」が、それぞれ対応しており、施策を進めることで、これらの課題の解決にも寄与するものと考えております。
7 9	SDG s	○SDG s の視点が、具体的に見えてこないように思います。	○回答 SDG s は2030年に「持続可能で多様性と包摂性のある社会の実

8 0	2 (1) 地域コミュニティ活性化の推進	○SDGs と明示的に直結した推進施策や指標を設定する余地はあるでしょうか。	現」を目指すものであり、本計画の基本的な方向性と合致するものであります。 本計画を推進することで、SDGs の目指す社会の実現につながるものと考えております。 また、県・市町村や各団体が行うSDGs に関する普及啓発を一層推進することで、県民一人ひとりがSDGs の実現に向けた行動につながるよう、推進施策「4(3)①様々な主体との連携による学習機会の充実」等に盛り込んでまいります。
8 1	指標の現況値	○P. 14 計画の推進と進行管理 現状値として、令和2年度の数値が記載されています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により、休館や事業の中止等もあったことから平常に近い数値を現況値とする等の検討もしていただいた方が良いかと思えます。	○回答 今後、目標値を設定する中で、より適切な数値を現況値とするよう検討してまいります。
8 2	生涯学習意識調査	○福島県の生涯学習意識調査がたいへん参考になりました。現状の情報環境が思ったより進んでいないところが気になりました。	○回答 「4(1)②学習情報提供体制の充実」の本文で情報提供に関する取組について記載してまいります。